

全国スポーツ少年団ホッケー交流大会実施に伴う感染症対策

J H Aスポーツ少年団部会

1 基本方針

大会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の周知と実践を徹底し、安全に大会を開催できる環境をつくることが重要です。そのため、大会に参加する関係者が一丸となって対策を講じ、同じ歩調でお互いに決まりを遵守していく必要があります。

以下に示した留意点は、スポーツ庁をはじめ、自治体や関係機関が打ち出した対策項目を総合的に判断して、本大会にふさわしい対策項目としてまとめたものです。皆様のご協力により、安全安心が最優先される大会となり、お互いにホッケー競技に関われる喜びを共有することができる大会にしていきます。

大会実行委員会で対策を講じるための基本事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染経路を遮断

以下に記載した「飛沫感染」と「接触感染」の防止が主たる対策になります。

・飛沫感染(咳やくしゃみ、おしゃべりによる感染)の防止

ウイルスが含まれる「飛沫」は、咳やくしゃみのみならず、会話によっても排出されます。①多数の人が多く集まる環境、②近距離での会話、③換気の悪い密閉空間、といった3条件が重なる状況では、特に感染するリスクが高くなるので、3密を防ぐ対策をとります。

・接触感染(手で触れることによる感染)の防止

咳やくしゃみ、おしゃべりで環境に排出されたウイルスは、テーブルなど環境表面に付着し、一定期間生存しています。汚染した環境に触れた手指などを介して、ウイルスが粘膜(口、鼻、眼など)から侵入することにより感染が成立するので、接触部分の消毒を徹底します。

(2) 感染者との接触による感染拡大の防止

感染者や感染の可能性が高い者との接触を未然に防ぎ、感染拡大を防止し、クラスターを発生させない。

(3) 大会開催直前であっても、イベント開催制限や自粛要請、開催地(利用施設)からの自粛要請があった場合は、急遽取りやめをしなければならないことをご理解ください。

(4) PCR検査の実施

今後の感染状況に応じて、参加選手については、大会参加前にPCR検査を行う場合があります。

2 大会開催の基準

(1) 山口県に緊急事態宣言、及び岩国市にまん延防止重点措置が発令された場合、大会は中止します。

(2) コロナウイルス感染症が拡大している場合は、山口県及び岩国市のコロナ対策指針に従い、開催の判断を行います。

3 緊急事態宣言、まん延防止重点措置が発令された都道府県のチームの参加について

属する自治体が示している方針(極力他県への移動は控える等)に従って頂き、参加の辞退をお願いする事もあります。

4 大会に参加するにあたっての留意点

(1) 大会参加2週間前から以下の健康チェックを行ってください。

① 体温測定:起床直後・就寝前など決まった時刻での体温を記録してください。

② 問診票で体調チェック:体温、咳、咽頭痛、倦怠感、体調不良等を「健康チェックシート①」の項目に従って、チェックを行ってください。各自、2週間前からの行動記録を取ってください。

③ 選手や役員、保護者等が「健康チェックシート①個票」の事項に該当する場合、該当者の参加は見合わせてください。

(2) 大会期間中に「健康チェックシート②の個票」に該当する事案が発生した場合等においては、大会本部の指示に従っていただきます。大会参加時には、初日は「健康チェックシート①及び②」、2日目以降は「健康チェックシート②」の項目に該当しない旨を確認の上、初日は「健康チェックシート①と②の総括表」、2日目以降は「健康チェックシート②の総括表」を、大会会場受付に毎日提出してください。この提出書類は、1か月保管いたします。また、それぞれの個票については、チーム代表者が1か月保管してください。

- (3) 選手、チーム関係者、家族等に対する啓発をお願いします。
参加者全員が基準を守る行動をとるように指導するとともに、以下の項目に関してチーム周辺関係者への啓発もお願いします。
- ① 対面する場面ではマスクを着用することを徹底してください。
 - ② 運転手・報道陣等チーム関係者以外の方への協力の要請をお願いします。
 - ③ 選手を含めたスタッフの行動記録の記載をお願いします。

※ 各都道府県のコロナ対策指針を、遵守してください。

5 大会の移動に関する留意点

- (1) チーム移動はできる限り、新幹線を除く公共交通機関は避けてください。
- (2) 移動時や人との会話をするなど試合以外の場所ではマスク着用を励行してください。
- (3) 選手、チーム関係者、役員の動向を限定することによって、万が一感染者が発生した場合の対処を簡易にすることができます。

※ バスで移動する場合は、座席間の余裕を持ってください。小まめに換気・消毒等を行って下さい。

6 大会の宿泊に関する留意点

- (1) チームは、コロナ対策ホテル(消毒・換気等の徹底)等に宿泊とする。
シングル部屋を基本とするが、ツイン部屋もしくは和室も利用可能とします。
(和室の場合は、大人1名に対し2畳とする。また選手1名に対して1.5畳を、基本とする。)
- (2) 感染リスクを下げるため、チームを守るために、ホテル等では食事場所をチームごとに設け、できるだけ他チームとの接触を避ける。時間も出来る限り分ける。席も出来る限り離して、対面とならないように千鳥配置とします。
- (3) 食事中も会話は出来る限り避けて、食後マスクを着けて会話をするようにする。
テーブル等、消毒を徹底する。
- (4) 入浴中も会話は出来る限り避けてください。
- (5) 換気を徹底する。
- (6) 就寝時以外、マスクは必ず着ける。

※ 引率者の5人以上の飲酒を伴う長時間の飲食等は、禁止とします。

7 会場での留意点

- (1) ミーティング、打ち合わせなどは屋外で行ってください。
- (2) 試合会場入場時、備え付けのアルコール剤による消毒を行ってください。もしくは、皮膚に負担がある場合は、水による手洗いでも可とします。
- (3) 会場内移動時を含めて、できる限りソーシャルディスタンスを保った行動をとってください。
- (4) 記録本部・競技役員控室等の空調は常時使用とし、換気は1時間に5分、必ず窓を開放して行います。
また、空気のおよみを最小限とするよう換気扇を常時使用とします。
- (5) タオルなどのリネンの共用はしない。必ず、個人のタオルを使用してください。トイレなどの手ふきは、各自のハンカチ等を使用してください。
- (6) スポーツドリンク等は、各自の水筒等を使用する。
- (7) チームテントにいる時も、マスクを着用する。スペースを確保するため、テント及びシート等を多く準備してください。

※ 他チーム等との接触は、出来る限り避ける。

8 試合中の留意点

(1) 道具等の管理

- ① 自分のスティックや防具、装具は自分だけが使用し、他の選手が身に付けたものは着用しない。
- ② チーム備品であるボール等、みんなが使う道具はチーム管理とし、試合で使用するチーム備品はチームの責任において試合前に全て消毒してください。なお、フェースマスク等には、区別がつくように目印等を付ける。
- ④ **水筒及びタオル等は、自分の物しか使わないことを徹底してください。**

(2)競技役員の管理

- ①審判員は、試合終了後、使用した笛、インカムを必ず消毒し、うがいと手洗いを励行してください。笛は、必要以上に強く吹くことは極力控えて、飛沫を防ぐ努力をしてください。
- ②競技役員は、休憩施設においても、密な状態とならないようにしてください。ただし、十分な休憩が取れるように静かに過ごし、試合前ミーティングは密室状態を避けてください。
- ③食事等は、補助員の仲介を得ることなく、各自本人の責任で受け取りや返却を行ってください。

(3)大会セレモニー、試合等の管理

- ①関係者は試合前、試合中、試合後を通じて、すべて握手をしない。
- ②選手同士のハイタッチは行わない。身体接触のコミュニケーションも禁止。
- ③ボールサーバーと担架補助員は置きません。ボールは選手自身が拾って試合を再開してください。また、担架は設置していませんので、自チームで選手を担ぐなど対応してください。

(4)試合前のチーム円陣、掛け声は禁止します。また、試合前のトス、指示等を行う場合は、選手と役員や審判、あるいは、選手同士はできる限りソーシャルディスタンス(最低1m以上)を保ってください。

(5)飛沫防止のため、ベンチ内での大声での指示等は慎みます。(大声での応援も、慎みます)

※ 試合に出ている選手以外は、全員マスクを着ける。

(6)チームベンチの消毒

- ①試合終了後には各チームで使用したベンチを備え付けの消毒セットにて消毒してください。
- ②使用済のタオル・ペーパー類はビニール袋に包んでゴミ箱へ入れてください。

9 チーム関係者（保護者等）に対する留意点

- (1)選手1人に対し、保護者(家族)2人までの応援とします。
- (2)競技会場への入場者（テント控室、応援エリア含む）は、選手及びネームカード保持者のみとします。
- (3)競技会場内周辺はフェンスで囲んであります。出入口は2か所となっています。

10 健康チェック及びネームカードについて

健康チェックシート 開催2週間前から「健康チェックシート①(2週間前)」を記入。

大会初日(11日)に大会受付時に、健康チェックシート①総括表を提出。

大会期間中、日ごとに「健康チェックシート②総括表」を提出。

→ 当日の「入場許可証」を受取る

(選手・チームスタッフ・競技役員、補助員については、選手名札で代用とする)

「健康チェックシート①及び②」の個票は各チームで1か月間保管してください。

※大会初日については、2週間前チェックと当日の**総括票**を提出頂くことになります。

※提出は各チームでまとめて(男女は別々)お願いします。(監督・チーム役員・選手・保護者)。

11 コロナアプリの推奨

- ・接触確認アプリ『COCOA』(厚生労働省)、大会参加前にインストールを推奨します。

「人に感染しない、させない」行動が、ホッケー競技の普及と大会開催にとって重要なことという認識をもって、『自分だけは』とか『わがチームだけは』とかの考えはもたないようにしてください。

*** この感染症対策につき、確認ある場合は、下記に問合せ下さい。**

日本ホッケー協会スポーツ少年団部会 事務局長 瀧上正志

ibuki-hockey@zb.ztv.ne.jp

疑い症例が出た場合の対応マニュアル

大会や試合を実施する際は、運営側で事前に地域の保健所などの連絡先、PCR 検査実施医療機関、感染疑いが出た場合の搬送先について事前に確実に把握してリスト化し、TD 及び運営関係責任者に共有しておくこと。

1 選手および家族も含めたチーム関係者に疑い例が出た場合の対応

*検温で 37.5℃以上の場合、必ず TD を通じて大会本部に報告することとする。

*発熱:37.5℃以上が 2 日間以上持続した場合は、チームから離れ、ドクター等と相談の上、下記のような対応を行う。

当該チームは、試合出場の停止を協議する。

大会自体は、そのまま続行するが、検温や健康チェックを入念に行う。

- (1) 大会本部に報告
連絡を受けた大会本部から地域の専門家チーム(保健所等)、連携医療機関へ連絡
- (2) 地域の専門家チーム(保健所等)のアドバイスにもとづく濃厚接触者の洗い出し
濃厚接触者の抽出および濃厚接触者を隔離、医療機関受診対象者とする。(集団発生防止の配慮)
- (3) PCR 検査および医療機関受診対象者の確認
健康チェックシート、自覚症状を確認の上、PCR 検査検体の採取(専門家チーム等による)
- (4) マスコミ対応
TD、地元大会運営団体、専門家チームによる記者会見などへの対応

2 選手および家族も含めたチーム関係者にPCR検査の結果、陽性反応が出た場合の対応

当該チームは、試合出場を即時停止し、その後の試合は不戦敗の扱いで対応する。

大会継続について、至急協議する。

また、全チーム、2週間後の健康状態を TD に報告する。

- (1)ドクター、専門家チーム・アドバイザーに相談する。
濃厚接触者の抽出および濃厚接触者を隔離、医療機関受診対象者とする。(集団発生防止の配慮)
- (2) 医療機関受診の対象者の確認
健康チェックシート、自覚症状を確認の上、医療機関受診対象者の確認(ドクター、専門家チームなど)
- (3) 陽性反応だった本人は入院もしくは自宅療養。濃厚接触者も自宅待機の処置を徹底する。
その他の選手やチーム関係者は検温等の健康チェックをより厳正に実施する。
- (4) マスコミ対応は、(公社)日本ホッケー協会として記者会見などへの対応を行う。